

## 英語演習 1限目—2 【ディスコースマーカー編①】

これを読みつつ、「課題プリント2」に取り組んでください。

### 【初めに】

毎年一定数の受験生がこんなことを言います。「英文は読めるが、問題が解けない。」どうやって勉強をしているのかを聞いてみると、ほとんどの生徒が、単語帳や文法の参考書などをはじめに勉強しているようでした。

では、なぜ問題が解けないのか。

それは、“英語の構文や文法を一生懸命に解読していたけれど、それだけでは内容はほとんど頭には残っていなかった”ということです。

英語の長文を読むにあたって、当然、単語・文法・語法・構文を意識して、一つひとつ文を丁寧に理解していくことは絶対に大切です！！

ですが、筆者が何を伝えたいのか、本文では何が語られているのかを意識し、内容を整理したり、話がどのように流れていくのかをつかまなければ、文章を読んだことにはなりません。当然、内容を問うような問題は解けないでしょう。

### 英文の流れ:「抽象」から「具体」へ

英語の文章の多くは、抽象的な表現から具体的な表現に話が進む。

(「抽象=わかりにくいもの」から「具体=わかりやすいもの」)

ひとつ例を挙げてみましょう。

「“金のなる木はない”というだろう。お金を簡単に得る方法なんてないんだ。だから一生懸命に働きなさい。」

これは…

「金のなる木はない」

↓

「お金を簡単に得る方法はない」

↓

「一生懸命働きなさい」

抽象的(わかりにくい)

↓

具体的に説明

↓

だから～したほうがいい(意見)

上記の例のように、まず一般的なことを述べ、その後に説明することで、言いたいことをわかりやすくしています。そして最後に自分の意見(結論)を述べています。

この知識は、筆者が言いたいこと(抽象的なものが多い)を推測することにも役立ちます。また、英文の1つひとつの流れから、段落ごとの流れを把握することで、少し長い内容も整理して頭に残しておくことができるようになっていきます。

では、本文で確認してみましょう。

2行目

Oh, it is not for serious things とは具体的に何か？と考えながら読み進める。

すると次に : we are not denied housing, jobs, medical care, or seats on a bus.

:(コロン)は前の内容を説明したり、例示したりする。

「深刻なことではない」

→ 「例えば、住居や仕事や医療やバスの座席を否定されたりしない」

\*「例えば～」を補ってあげるとわかりやすいかも…。

図で表すとこんな感じ。

説明  
Oh, it is not for serious things (: we are not denied ...)

6行目

Most kitchen tools, 具体的には？

→ — can openers, ladles and saucepans, and various knives and peelers — are ineffective, awkward, or impossible to use with the left hand.

—(ダッシュ)は前の内容に情報を補足したり、言い換えたりする。

説明  
図で表すと…  
Most kitchen tools, as well (— can openers, ladles and saucepans, and various knives and peelers —) are ineffective, awkward, or impossible to use with the left hand.

( )内は Most kitchen tools の説明なので、ひとまず避けて考えてみると主語と動詞も発見しやすくなります。

この文は長く見えますが、基本文型の「説明型(FACTBOOK P18)」ですね。

「ほとんどの調理器具(例えば～)もまた、左手で使うのに効果がなかつたり、使いにくつたり、使えなかつたりする。」

“コロン”も“ダッシュ”とともに、「例えば～」、「すなわち～」といった訳が当てはめられる。抽象的なものをより具体的な表現にするために用いられるため、抽象表現がわかりにくくても、つきの具体表現を期待して読み進めていくことができる。

“コロン”や“ダッシュ”を見かけたら「ラッキー」という気持ちで読み進めよう。

どうですか？「抽象」の後に「具体」が続いていましたね？

もう少し見てみましょう。今まで見てきた文は、一つの文章で「具体」から「抽象」へとすすんでいきました。これは文と文の関係性でも同じように現れてきます。

「具体」的なものを表す方法として、「例示」がある。

4行目

However, we do experience anti-lefty bias in ways right-handed people probably never realize.

下線部「右利きの人々がおそらく気づいていないだろうアンチ左利きの偏見」とはどうだろう？というように読み進める。

すると次の文に…

⇒ Did you know, **for example**, that shirt buttons and trouser zippers are designed for right-handed people?

\*for example, 「例え～」以降に具体例が例示されている。

さらに読んでいくと、

先ほど触れた Most kitchen tools, as well ~と続きます。

「ほとんどの調理器具もまた～」とありますので、これも具体例の続きと考えます。

\*as well 「～もまた、同様に」

8行目

Every day in school we must put up with **such things as** desks, pencil sharpeners, scissors, cutters, and three-ring binders, all which favor the right-handed person.

\*such as ~「例え～」以降に具体例が例示されている。

put up with ~「～を我慢する」

, all which favor ~ 関係詞の非制限用法(FACTBOOK P.271~) 重要！！

さらに、10行目には Musical instruments and sports equipment, too, ~.と続きますので、これも具体例の続きと考えられます。

つまり、5行目の”Did you know, for example, ~?”以降は、”anti-lefty bias ~”の具体的説明をしているということがわかると思います。

どうですか？文と文のつながりがわかりましたか？これらを意識しながら読んでいくと、スムーズに話を整理することができ、内容が頭に残りやすくなるでしょう？

